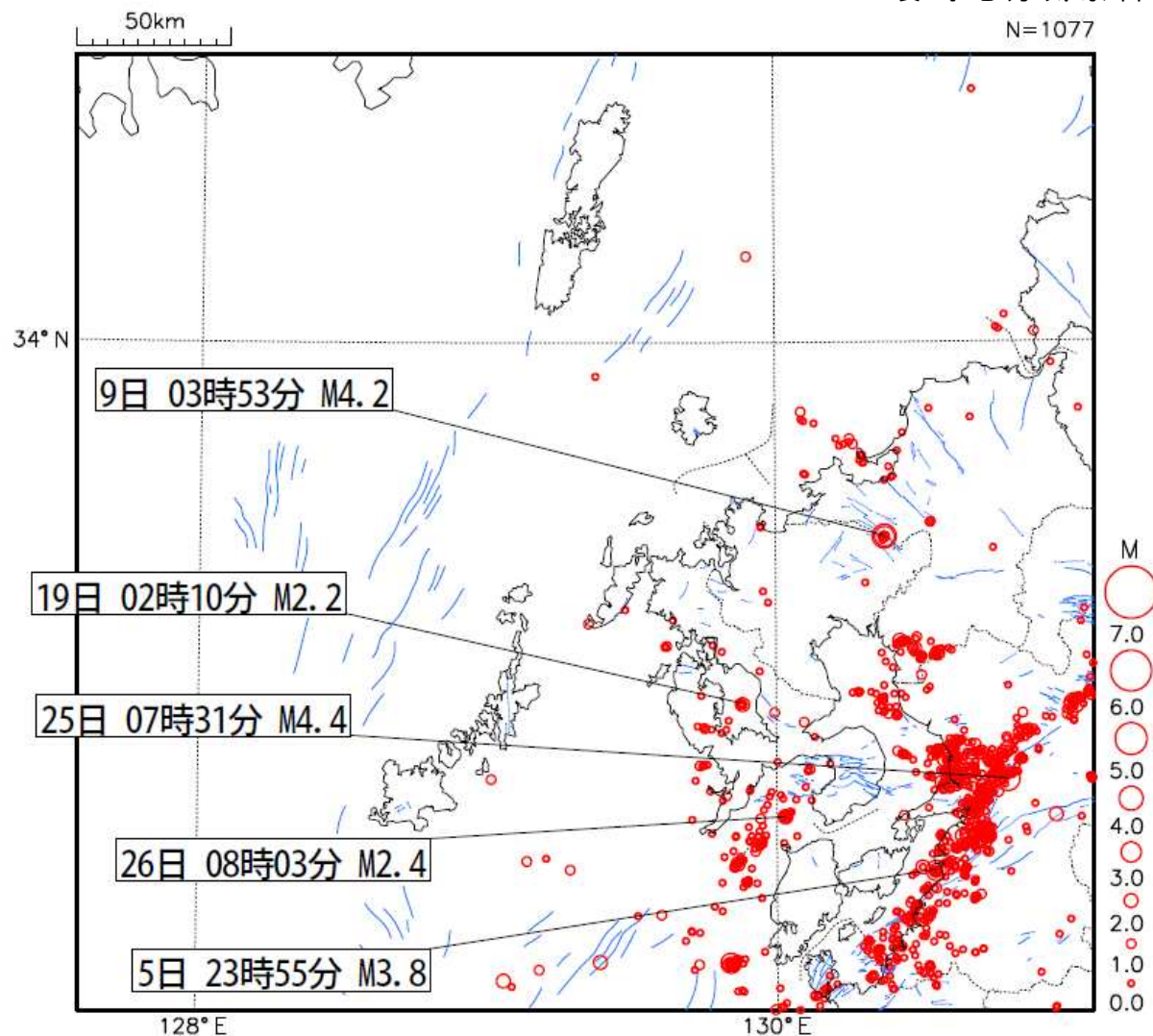


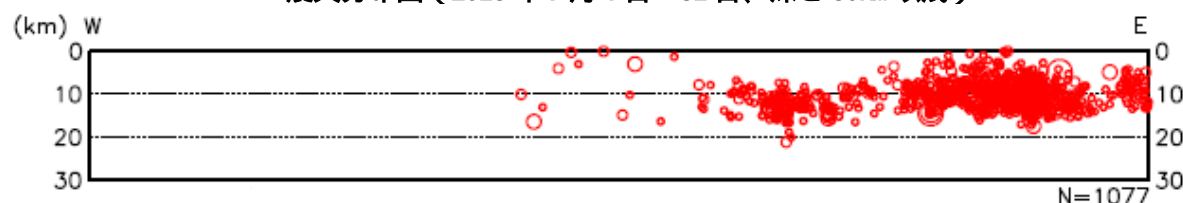
長崎県の地震活動概況（2018 年 7 月）

平成 30 年 8 月 10 日

長崎地方気象台



震央分布図（2018 年 7 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30km 以浅）



断面図（2018 年 7 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30 km 以浅）

（震央分布図を南の方から見た断面図です）

地震活動の概況（2018 年 7 月）

7 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 8 回（上記震央分布図領域外 3 回を含む）でした（6 月：3 回）。

詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す（活断層のデータは新編日本の活断層による）。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況

熊本県天草・芦北地方

5 日 23 時 55 分に熊本県天草・芦北地方で発生した M3.8 の地震（深さ 11km）により、熊本県、鹿児島県で震度 2 を観測したほか、熊本県、長崎県、宮崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました。長崎県では長崎市、諫早市、大村市、雲仙市、南島原市で震度 1 を観測しました（図 1、表 1）。

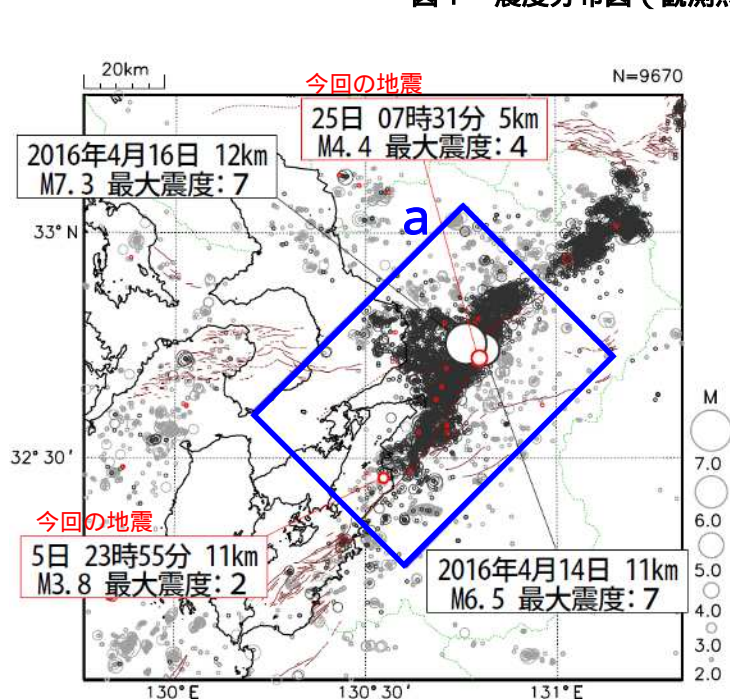
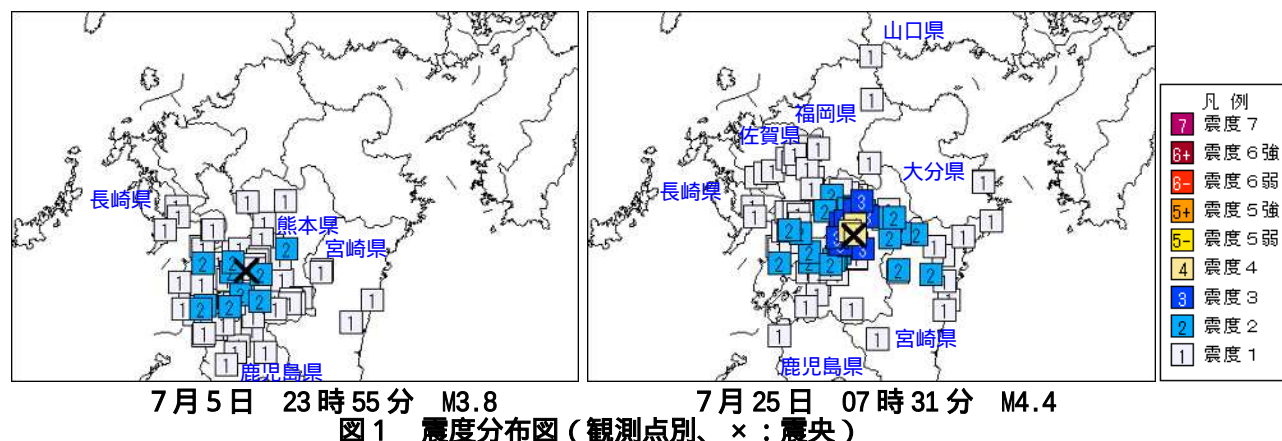
熊本県熊本地方

25 日 07 時 31 分に熊本県熊本地方で発生した M4.4 の地震（深さ 5 km）により、熊本県で震度 4 を観測したほか、九州地方と山口県で震度 3 ～ 1 を観測しました（図 1、表 1）。

地震調査研究推進本部によると、熊本県熊本地方（図 2 領域 a）及び阿蘇地方における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと評価されています（図 2、図 3）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。

http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html



（1997 年 10 月 1 日～2018 年 7 月 31 日 深さ 0 km～20km M 2.0）
2016 年 4 月 14 日以降の地震を黒で、2018 年 7 月 1 日以降の地震を赤で表示
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

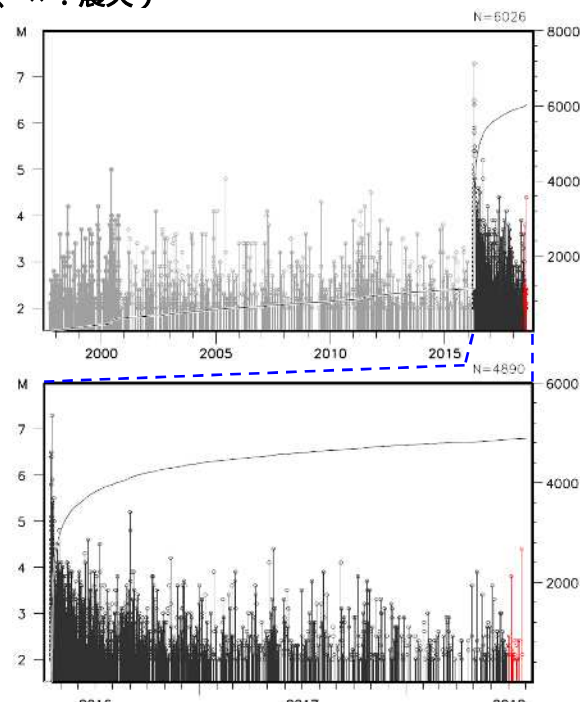


表 1 これらの地震により長崎県内で震度 1 以上を観測した地点

No. 1	2018 年 7 月 5 日 23 時 55 分 熊本県天草・芦北地方 32° 27.3' N 130° 32.7' E 11km M3.8	
長崎県	1	長崎市元町 * 諫早市多良見町 * 大村市玖島 * 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所 * 南島原市口之津町 * 南島原市加津佐町 *
No. 7	2018 年 7 月 25 日 07 時 31 分 熊本県熊本地方 32° 43.3' N 130° 47.8' E 5 km M4.4	
長崎県	2	雲仙市小浜町雲仙 南島原市深江町 *
	1	諫早市多良見町 * 大村市玖島 * 島原市下折橋町 * 島原市有明町 * 雲仙市国見町 雲仙市雲仙出張所 * 雲仙市瑞穂町 * 雲仙市小浜町北本町 * 南島原市口之津町 * 南島原市北有馬町 * 南島原市西有家町 * 南島原市布津町 * 南島原市加津佐町 *

注 1) 震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

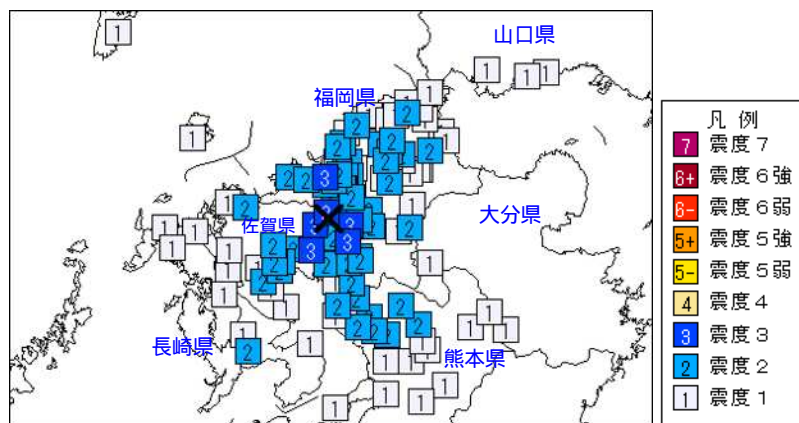
注 2) * を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

注 3) No. は、時系列順に付しています。

佐賀県南部

9日03時53分に佐賀県南部で発生したM4.2の地震（深さ14km）により、佐賀県、福岡県で震度3を観測したほか、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県で震度2～1を観測しました。長崎県では、諫早市で震度2を、佐世保市、平戸市、松浦市、大村市、雲仙市、対馬市、壱岐市、川棚町で震度1を観測しました（図4、表2）。

今回の地震の震源付近（図5領域b）で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した2002年7月29日以降初めてです。



7月9日 03時53分 M4.2
図4 震度分布図（市町村別、×：震央）

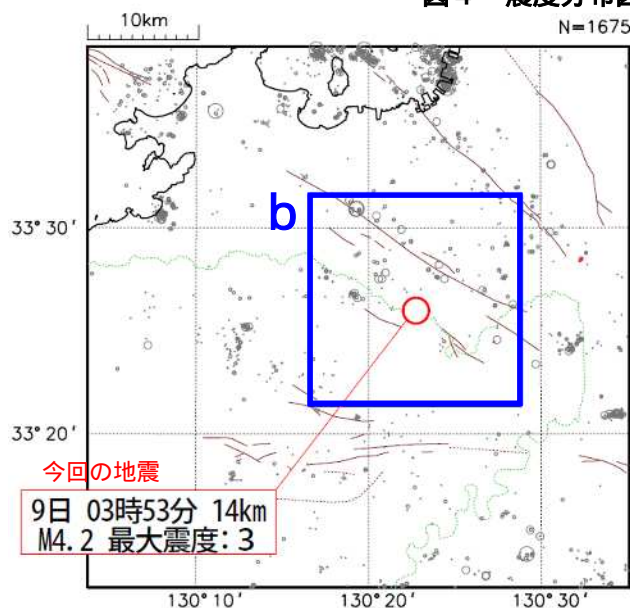


図5 震央分布図

（1997年10月1日～2018年7月31日 深さ0km～30km M 0.5）

2018年7月1日以降の地震を赤で表示

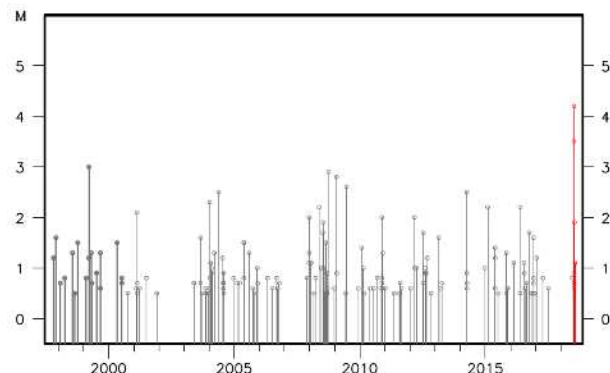


図6 図5領域b内の地震活動経過図

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 2	2018年7月9日03時53分 佐賀県南部	33° 25.9' N 130° 22.7' E 14km M4.2
長崎県	2	諫早市多良見町 *
	1	佐世保市鹿町町 * 平戸市岩の上町 平戸市鏡川町 * 平戸市志々伎町 * 松浦市志佐町 * 松浦市福島町 * 川棚町中組 * 大村市玖島 * 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 長崎対馬市厳原町国分 * 壱岐市郷ノ浦町 * 壱岐市芦辺町芦辺 * 壱岐市石田町 *

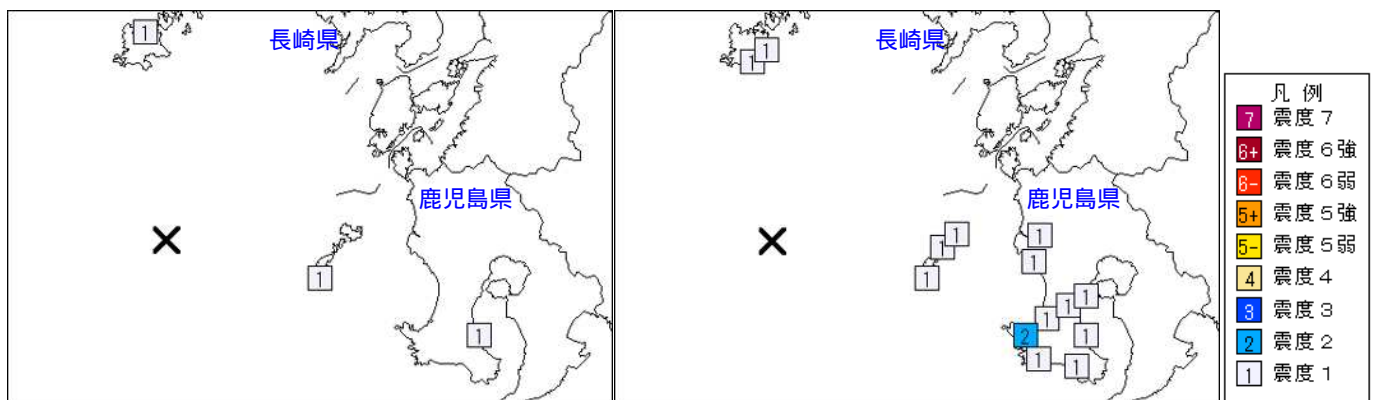
注4） 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注5） *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

薩摩半島西方沖（１頁震央分布図領域外）

10 日 04 時 14 分に薩摩半島西方沖で発生した M3.9 の地震により、長崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました。長崎県では五島市で震度 1 を観測しました。またほぼ同じ場所で 13 日 17 時 19 分に発生した M4.3 の地震により、鹿児島県で震度 2 を観測したほか、長崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました。長崎県では五島市で震度 1 を観測しました（図 7、表 3）。

今回の地震の震央付近（図 8 領域 c）で発生した地震により、長崎県内で震度 1 以上を観測したのは、2016 年 6 月 4 日に発生した M4.5 の地震（最大震度 3）で、長崎県では五島市で震度 3、佐世保市、平戸市、松浦市、諫早市、五島市、時津町、新上五島町で震度 2 ～ 1 を観測して以来です（図 8、図 9）。



7 月 10 日 04 時 14 分 M3.9

7 月 13 日 17 時 19 分 M4.3

図 7 震度分布図（観測点別、×：震央）

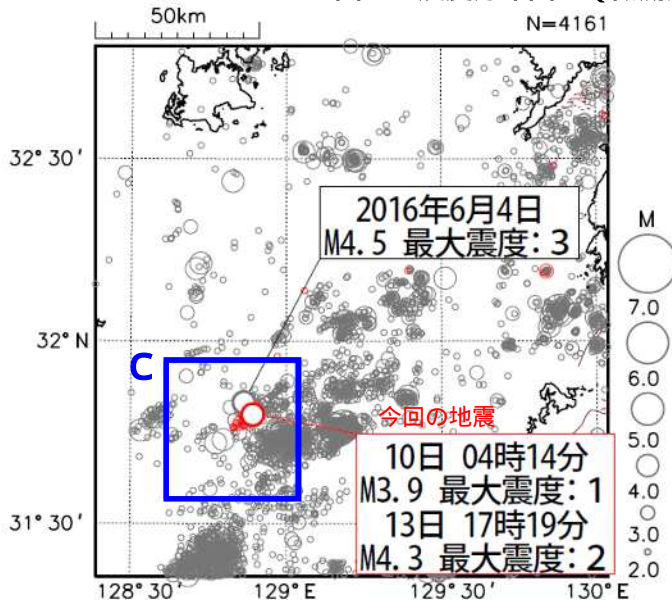


図 8 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2018 年 7 月 31 日 深さ 0 km～60km M 2.0）

2018 年 7 月 1 日以降の地震を赤で表示

表 3 これらの地震により長崎県内で震度 1 以上を観測した地点

No. 3	2018 年 7 月 10 日 04 時 14 分	薩摩半島西方沖	31° 48.1' N	128° 53.6' E	28km	M3.9
長崎県	1	五島市岐宿町 *				
No. 4	2018 年 7 月 13 日 17 時 19 分	薩摩半島西方沖	31° 47.9' N	128° 53.5' E	28km	M4.3
長崎県	1	五島市上大津町 * 五島市富江町富江 *				

注 6）震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注 7）*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

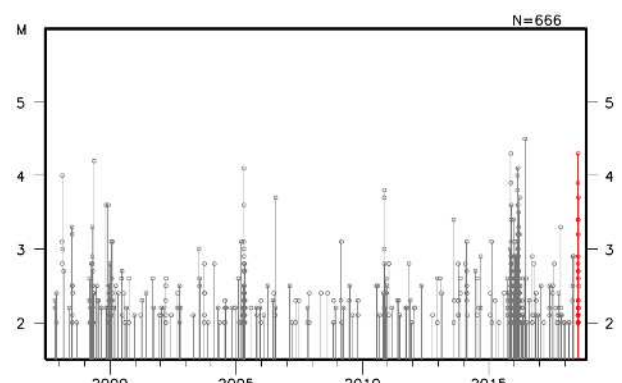


図 9 図 8 領域 c 内の地震活動経過図

薩摩半島西方沖（1頁震央分布図領域外）

18日03時42分に薩摩半島西方沖で発生したM4.6の地震により、長崎県五島市で震度2を観測しました（図10、表4）。

今回の地震の震央付近（図11領域d）で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した2002年7月29日以降初めてです。



7月18日 03時42分 M4.6
図10 震度分布図（観測点別、×：震央）

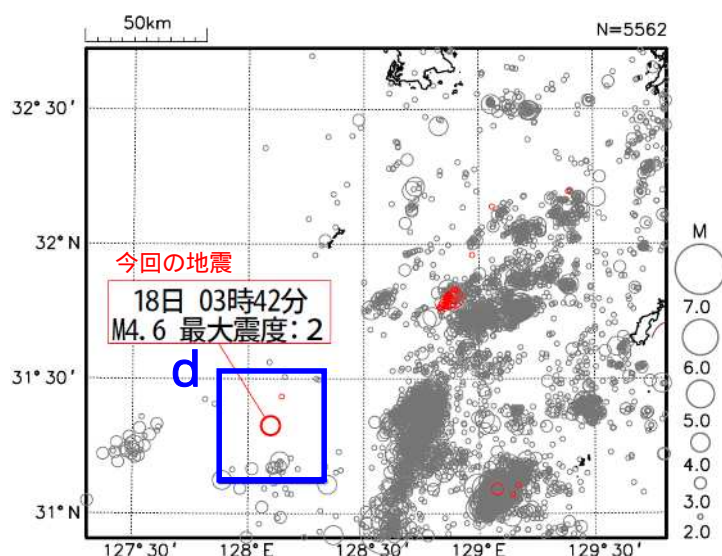


図11 震央分布図
（1997年10月1日～2018年7月31日 深さ0km～60km M 2.0）
2018年7月1日以降の地震を赤で表示

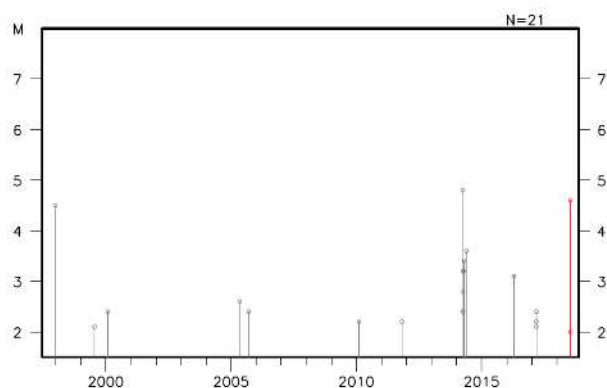


図12 図11領域d内の地震活動経過図

表4 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 5	2018年7月18日03時42分	薩摩半島西方沖	31°19.5' N	128°05.8' E	5km	M4.6
長崎県	2	五島市岐宿町*				

注8）震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注9）*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

長崎県南西部

19 日 02 時 10 分に長崎県南西部で発生した M2.2 の地震（深さ 10km）により、長崎県の大村市、東彼杵町で震度 1 を観測しました（図 13、表 5）。

今回の地震の震源付近（図 14 領域 e）で発生した地震により、長崎県内で震度 1 以上を観測したのは、2016 年 2 月 12 日に発生した M2.9 の地震（深さ 13km、最大震度 1）で、長崎県では大村市、東彼杵町で震度 1 を観測して以来です（図 14、図 15）。



7 月 19 日 02 時 10 分 M2.2
図 13 震度分布図（観測点別、×：震央）

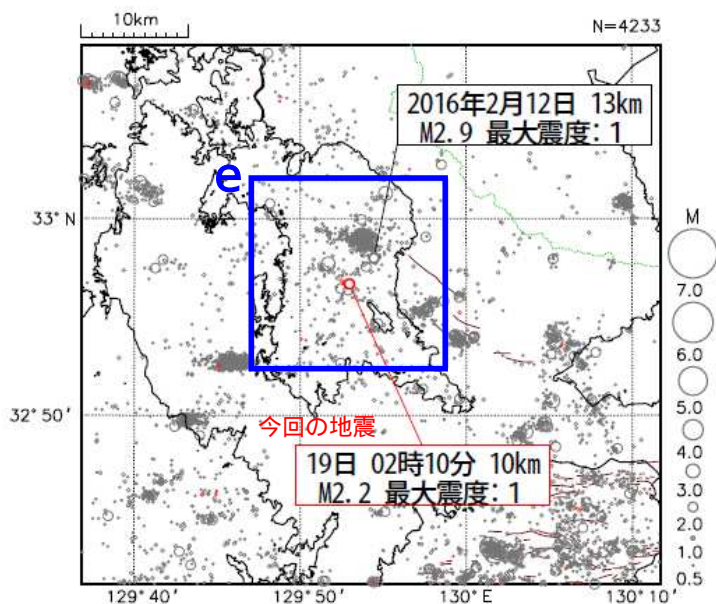


図 14 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2018 年 7 月 31 日 深さ 0 km～30km M 0.5）
2018 年 7 月 1 日以降の地震を赤で表示

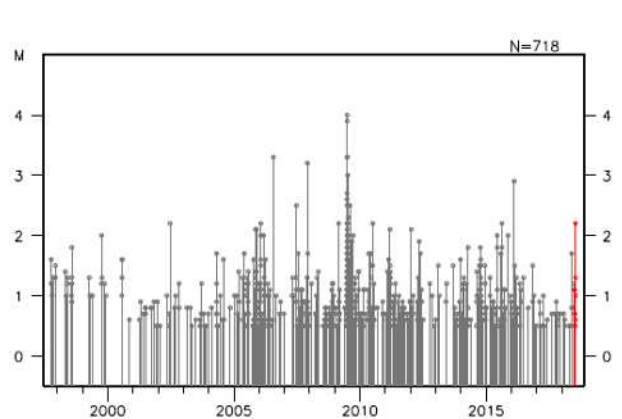


図 15 図 14 領域 e 内の地震活動経過図

表 5 この地震により長崎県内で震度 1 以上を観測した地点

No. 6	2018 年 7 月 19 日 02 時 10 分	長崎県南西部	32° 56.6' N	129° 52.9' E	10km	M2.2
長崎県	1	大村市玖島＊ 東彼杵町蔵本＊				

注 1 0) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注 1 1) ＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

橘湾

26 日 08 時 03 分に橘湾で発生した M2.4 の地震（深さ 16km）により、長崎県長崎市で震度 1 を観測しました（図 16、表 6）。

今回の地震の震源付近（図 17 領域 f）で発生した地震により、長崎県内で震度 1 以上を観測したのは、2016 年 7 月 27 日に発生した M3.2 の地震（深さ 15km、最大震度 2）で、長崎県では長崎市で震度 2、諫早市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町で震度 1 を観測して以来です（図 17、図 18）。



7 月 26 日 08 時 03 分 M2.4
図 16 震度分布図（観測点別、×：震央）

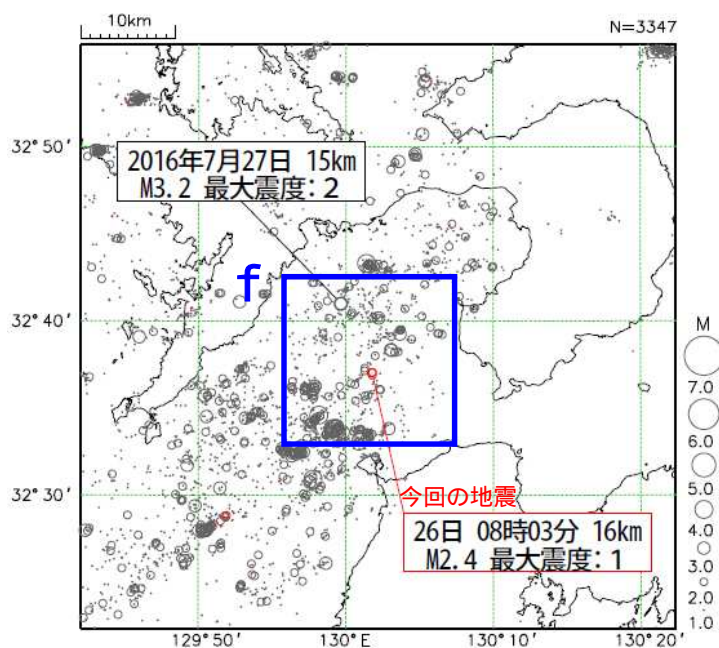


図 17 震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2018 年 7 月 31 日 深さ 0 km～20km M 1.0)
2018 年 7 月 1 日以降の地震を赤で表示

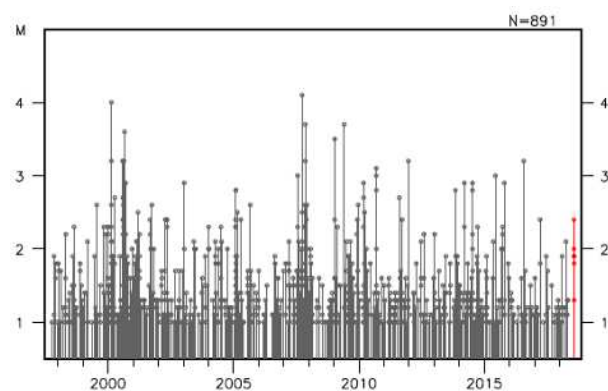


図 18 図 17 領域 f 内の地震活動経過図

表 6 この地震により長崎県内で震度 1 以上を観測した地点

No. 8	2018 年 7 月 26 日 08 時 03 分 橘湾	32° 37.0' N 130° 01.7' E 16km M2.4
長崎県	1	長崎市元町 *

注 1 2) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注 1 3) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

注 1 4) No. は、時系列順に付しています。

「防災の日」と「防災週間」

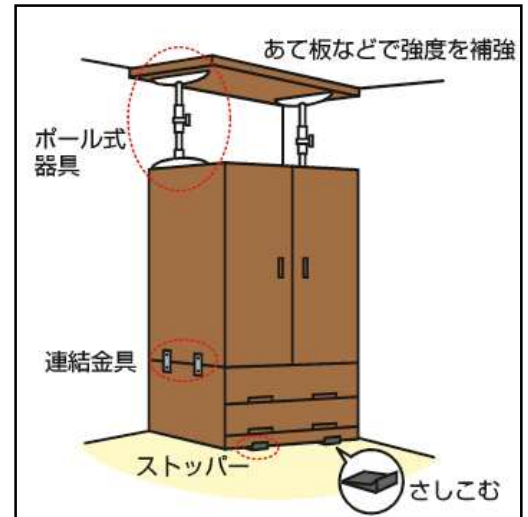
～いつかくる災害に備えて～

毎年、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

この期間には、国や防災関係機関をはじめ、広く住民の方が地震、津波等の災害の理解を深め、これに対する備えを充実強化していくため、全国各地で大きな地震を想定した防災訓練や防災講演会などのイベントが開催されます。この機会にこれらのイベントに参加して防災に対する意識を深め、**日頃からの備え**と大きな地震が起こった時の**とるべき行動**を確認し、災害にしっかり備えましょう。

○日頃からの備え

日頃からの地震への備えには、『家具の固定や配置の見直し』、『水や食料・生活用品の備蓄』、『建物の耐震診断や耐震化』などがあります。近年の大きな地震の際には、多くの人々が家具の転倒によりケガなどをしています。右の図を参考に家具を固定しましょう。また、寝室に重い家具を置かないなど、配置にも気を配りましょう。大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の建築窓口へ相談しましょう。



みんなで減災（内閣府パンフレット）より

○とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

屋外（街）では



- ブロック塀の倒壊等にご注意する
- 看板や割れたガラスの落下にご注意する

家庭では



- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

人が大勢いる施設では



- 施設の係員の指示に従い、落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない

いざという時の行動例

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>